

## 「第2回地域 SNS 全国フォーラム in 横浜」レポート

「持続可能なコミュニティ基盤へ」をテーマに、2008年2月28・29日、「第2回地域 SNS 全国フォーラム」(主催・第2回地域 SNS 全国フォーラム in 横浜実行委員会、共催・イベント創造プラットホーム運営委員会)が開かれた。会場は、パシフィコ横浜会議センター(横浜市西区みなとみらい)、横浜市開港記念会館 講堂・6号室・9号室(横浜市中区本町1-6) ZAIM/なか区民活動センター(横浜市中区日本大通34)の3カ所。



当時の横浜は、2009年の開港150周年前夜。150周年事業の市民イベントを企画する市民の情報交換／共有と交流促進のため、2007年に地域 SNS「ハマっち！」を開発して約1年が経過したところだった。ハマっち！は、NPO 法人、市役所職員、新聞記者などをつくるボランティアな実行委員会が運営。このフォーラムも、完全民間主導で実施した。

第1回フォーラム(神戸市)を受けて開催された横浜でのフォーラムは、市民の住民同士が信頼を構築し、地域の元気のもととなる基盤＝SNS＝を使い続けていくために、どのような環境・条件が必要かなどについて、広い視野で議論を展開した。また、地域 SNS の事業モデルを検討するため、SNS の仕組みをビジネスとして手がけている企業も参加した。

セッションでは、実行委員長でもある庄司昌彦さん(国際大学 GLOCOM 研究員＝当時＝)、村井亮さん(Beat Communication 代表取締役)や神田敏晶さん(カンダニュースネットワーク代表取締役)らによる「OpenSocial と地域 SNS」や、和崎宏さん(インフォミーム代表取締役)や伊藤淳子さん(エイガアル代表取締役)、地元高校生を招いた「まちづくりの情報拠点～高校生の SNS 活用による商店街活性化」、国領二郎さん(慶応大学 総合政策学部教授＝当時＝)、坪田知己さん(日経メディアラボ所長＝当時＝)による「地域 SNS の先に」や地域通貨をテーマにしたセッションなど2日間で合計13のセッションが企画された。



行政からの助成がほとんどない財政状況のなか、実行委員メンバーが時間と知恵を持ち寄り、さらに情報基盤としての地域 SNS を活用して組み立てた2日間のイベントは、開港150周年の一足先に市民のボランティアな力が試され、つながった機会となった。

2012年の現在、Twitter や facebook など新たなソーシャルメディアが台頭し、発信したい相手に応じてさまざまなツールを使い分ける状況が当たり前になっている。それでも、代理店主導の開港150周年事業が失敗に終わった横浜で、ハマっち！を舞台につながった市民のリアルなソーシャルネットワークだけは、脈々といまに受け継がれた。フォーラムは、その黎明期の「全国規模のオフ会」としてつながりを強化するリアルなイベントとして、ハマっち！の歴史に刻まれている。

## 第2回地域 SNS 全国フォーラム in 横浜 ～持続可能なコミュニティ基盤～

2月28日(木) 10:00～17:00 パシフィコ横浜会議センター5階小ホール

2月29日(金) 10:00～18:00 横浜市開港記念会館、なか区民活動センター

主催：第2回地域 SNS 全国フォーラム in 横浜実行委員会

共催：横浜市、イベント創造プラットフォーム運営委員会

後援：(財)横浜開港150周年協会、(財)横浜観光コンベンション・ビューロー、FMヨコハマ、タウンニュース社、国際大学 GLOCOM、横浜市市民活動支援センター

協力：キリンビール横浜統括支社、日産自動車(株)カーウイングス、なか区民活動センター

【2月28日】パシフィコ横浜 会議センター5階小ホール	
<p>10:30-12:30 API公開時代の地域 SNS～Google・OpenSocial のインパクト 国際大学 GLOCOM 研究員・庄司 昌彦 氏 (株)Beat Communication 代表・村井 亮 氏 アルカーナ(株) 代表取締役・原田 和英 氏 (有)KNN 代表取締役・神田 敏晶 氏 作家、フリーライター・高橋 暁子 氏</p>	<p>12:45-13:30 まちづくりの情報拠点～高校生の SNS 活用による商店街活性化」&lt;WEB 中継&gt; 伊丹市立伊丹高等学校 講師・山下 雅啓 氏 兵庫県伊丹市立伊丹高校の生徒さん&lt;WEB&gt; ミニヨコハマシティ研究会代表・岩 晶子 氏 関西学院大学非常勤講師・佐藤 等史 氏 伊丹市立伊丹高等学校教諭・畑井 克彦 氏</p>
<p>13:45-15:30 地域 SNS+αのかたち～まちを元気にする地域情報化プラットフォームを展望する 慶應義塾大総合政策学部教授・國領 二郎 氏 日経メディアラボ 所長・坪田 知己 氏 河北新報社「ふらっと」運営担当・佐藤 和文 氏</p>	<p>15:45-17:00 3大 SNS 基盤提供者が語る地域 SNS 国際大学 GLOCOM 研究員・庄司 昌彦 氏 OpenPNE(株)手嶋屋代表取締役・手嶋 守 氏 OpenSNP/インフォミーム(株)代表取締役・和崎 宏 氏 Open-gorotto/八代市情報推進課主任・小林隆生 氏</p>
【2月29日】横浜市開港記念会館・なか区民活動センター	
<p>10:35-12:30 開港記念会館講堂 地域情報化の過去・現在・未来＝ニッポン活性化戦略のゴールを探る 日経メディアラボ所長・坪田 知己 氏・ほか</p>	<p>13:30-15:00 開港記念会館講堂 ハマる！地域 SNS～担い手9人による活動事例紹介 国際大学 GLOCOM 研究員・庄司 昌彦 氏・ほか</p>
<p>13:30-15:00 開港記念会館6号室 mixi があるのになぜローカル？～若者が動かす地域 SNS 横浜国立大学経営学部4年・梅木 隆伸 氏・ほか</p>	<p>13:30-15:00 開港記念会館9号室 融合するコミュニティの基盤—地域 SNS と地域通貨の未来 兵庫県立大学環境人間学部教授・岡田 真美子 氏・ほか</p>
<p>15:30-17:00 開港記念会館6号室 地域 SNS における地図活用 ～コミュニケーション・ツールとして注目される「地域 SNS+地図＝？」を探ります～ 横浜市GIS推進担当係長・入江 佳久 氏・ほか</p>	<p>15:30-17:00 開港記念会館9号室 地域 SNS 発情報のビジネス活用を考える～日産・カーウイングス/アクトビラとの連携事例 国際大学 GLOCOM 研究員・庄司 昌彦 氏・ほか</p>
<p>13:30-17:00 開港記念会館4号室 OpenSNP Developer's Party～地域 SNS の基盤「OpenSNP」の開発者のためのグロズドセッション～ インフォ・ラウンジ LLC 社長・肥田野 正輝 氏・ほか</p>	<p>13:30-15:00 なか区民活動センター ミーティングエリア 自治体における協働のツールとしての地域 SNS の課題と可能性～横浜市子ども青少年局の活用事例から考える～ 横浜市子ども青少年局「ヨコハマはびねすぽっと」メンバ</p>
<p>16:00-18:00 なか区民活動センター ミーティングエリア 市民活動と ICT の利活用 ～地域 SNS の可能性 イベント創造プラットフォーム運営委員会事務局・森 由香 氏</p>	<p>10:00-16:00 なか区民活動センター研修室 ハマっち！活用講座 「イロハのイ 初級講座」「団体活用講座」</p>